

東京オリンピック開催の年に、
みんなの手で建てよう

嘉納治五郎の銅像

我孫子市が「文化都市」と呼ばれるのは、大正時代に柳宗悦、志賀直哉、武者小路実篤など「白樺派」の主だった文人が住んだからですが、最初（明治44年）に我孫子に別荘を持ったのは嘉納治五郎でした。嘉納の勧めで甥の柳宗悦は別荘の隣りに住み、志賀たちを呼び寄せました。その意味でも我孫子にとって「大事な人」です。

2020東京オリンピックの年、我孫子を聖火ランナーが走ります。それは嘉納治五郎生誕160年にあたります。嘉納が初代IOC委員となり、東洋人としてオリンピックに初参加する金栗四三（当時マラソンの世界記録）らを養成、箱根駅伝を創設する過程はNHK大河ドラマ『いだてん』に描かれています。一方、英語の達人でもあった嘉納は、国際社会に訴えて、東京誘致を成功させた「日本オリンピックの父」でもあります。

偉大な功績を挙げた嘉納治五郎と我孫子市の関係を市民に広く知って貰い、嘉納が手賀沼の景色を愛し過ごしたことを誇りと考え永く歴史に留めるため別荘跡地に銅像を建てます。

是非ご協力いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

《募金の目標額》

900万円

《募集期間》

2018年4月1日～2019年9月30日

《募金の金額》

1口、1,000円以上

◆振込口座名「嘉納治五郎銅像建立基金」

○郵便局 口座記号番号 00290—6—139276

○京葉銀行我孫子店、普通預金、口座番号 3252211

○千葉銀行我孫子支店、普通預金、口座番号 3830922

嘉納治五郎銅像建立委員会

《主催》我孫子の文化を守る会（会長 美崎大洋）

〈後援〉我孫子市教育委員会・我孫子市商工会

〈協力団体〉・我孫子の景観を育てる会・我孫子市史研究センター・

・ふれあい塾あびこ・あびこガイドクラブ・美しい手賀沼を愛する市民の連合会（美手連）

・ふるさと我孫子ガイドの会・我孫子市国際交流協会（AIRA）・世界の人形館・

Abiko Culture&Talk (ACT)

NPO法人
ACOBA
Abiko Community Business Association

